Claude Code講座の練習として作った提案です
クラウドワークスアカデミーが作成・公開した公式の資料ではなく、講座の受講者としての個人の練習作品です。
ページの内容は2026-11-15時点のもので、現在とは異なる場合があります。

1 / 6 今のサイトで分かったこと

提案者：Nolia（一般行政事務20年／データの集計・分析と報告書づくりが得意）

講座の中身の説明は、すでに分かりやすく書かれています。さらに足すと良いのは、「申し込むかどうかを決める最後の材料」と、講座の強みを伝える説明です。

すでに伝わっていること

- 3週間で自己紹介スライド・note記事・ポートフォリオサイトの3つが手元に残る
- 動画は24時間いつでも見られ、質問は受講中なら何度でもできる（Slack）
- 非エンジニア・未経験が対象で、導入や安全面もFAQで説明されている
- 39,600円（税込）と、価格を抑えている理由の説明がある

見方と調べた範囲

- 対象：講座ページ（2026-11-15に本文を読みました。現在の内容とは異なる場合があります）
- 受講中の私自身にも、申し込む前に知りたかったことを聞きました（1人・受講2週目の声です。全員に当てはまるとは限りません）
- 画像の中の文字や、ログイン後の画面、別ページは読めていません

ページに書かれていることと、さらに足せること

伝わるとよいこと・知りたいこと	ページの今の状態	気づいたこと
短期間・低価格で、合うかを判断できる設計	3週間・39,600円の記載はあるが、その設計の説明なし。【初級】が「どんな人向けか」を示す副題もなし	短期間・低価格という強みを、ページでも伝えられます
初めての人でも受注できるよう、仕事データをもとにしていること	仕事データをもとにしていることは、短い説明のみ。対象の人や、受注できた人の例は記載なし	なぜ開かれている講座か、誰が対象かが、もう少し伝わると分かりやすくなります
受講後の仕事や収入につながる道筋	「収入」の記載なし。ポートフォリオサイトまで	講座の先にある姿が見えると、さらに安心できます
今、申し込めるか／次はいつか／定員	「受付停止中」「受講期間：未定」。開催の目安・定員の記載なし。入口は公式LINEと無料相談会	次の開催の目安がほしい、と受講生は回答
支払い方法・返金・Claude有料プラン代	このページには記載なし（別ページにある可能性あり。未確認）	受講中の私は、支払いの画面で戸惑った場面がありました。事前に分かると安心です
受講生の作品・声	受講生のnote記事3本へのリンクのみ	受講生自身も「作品や初めての人の声がほしい」と回答
この講座の受講者数・満足度	アカデミー全体の「受講者1万人以上」のみ	この講座単体の数字はありません

似たサービスとの違い

調べた日：2026-11-15
日本語・英語の7件

同じ条件（日本語・非エンジニア向け・仕事につなげる）で、約4万円の講座は、調べた範囲では見つかりませんでした。この点と、3週間で成果物が残る設計が、この講座の特長と考えます。

比べて分かったこと

項目	この講座	似たサービス（調べた範囲）
料金	39,600円（税込）	無料から約66万円まで。マンツーマン型は約43万円〜
期間・形式	3週間。動画＋Slackで質問	1〜3時間の単発講座、週1回のライブ・マンツーマン（8〜16週）など
成果物	スライド・note・公開サイトの3つが残る	同じ設計は見つからず。制作事例を載せているところはあり
質問	受講中は回数無制限	マンツーマン、質問権つき、質問の記載なし、など
今の受付	停止中（次回未定）	受付中、または日付つきで案内。目安の時期まで書いているところはなし
返金・支払い	ページには記載なし	返金条件や分割・給付金を載せているところあり
口コミ・数字	外部noteのリンク3本。全体の受講者数のみ	卒業生の声約20名分、評価・レビュー数、継続率などを載せているところあり
無料の入口	無料個別相談会、公式LINE。説明会で中身がよく分かる（受講中の私の感想）	無料カウンセリング、プレビュー動画、無料の入門コースなど

この講座にしかないもの

- 3週間で3つの成果物が残る課題設計
- 「使うほど育つ自分専用AI」を作る内容
- 日本語・非エンジニア向けで約4万円
- 受講中は質問が回数無制限、同期生との交流
- 価格を抑えている理由の説明
- クラウドワークスの仕事データを使える立場

他にあって、この講座にないもの

- 次回開催の目安と、定員の目安
- 返金・支払い方法の説明
- 受講生の声の本文と、作品の例
- この講座単体の人数・満足度
- 仕事や収入につなげる道筋の説明

無料の入口は、無料説明会で十分と考えます（6枚目）。

> 調べきれなかったもの：2件はページが読めず、1件は料金・期間が確認できませんでした。数字は調べた日時点のページに基づきます。

> 期限で急がせる見せ方（カウントダウンなど）は他社にありましたが、提案には入れていません。他のサービスを悪く言う書き方もしません。

選んだ改善案①

効果の大きさの見立て：大
（数字での約束はしません）

案7　問い合わせた人・受講した人の「迷った点」を集計・分析して、ページの直しどころを見つける

① 課題

- 申し込みに踏み切れない理由が数字で見えていません
- 申し込まなかった人や、問い合わせをしなかった人の声は、聞くのが難しいです
- 聞けるのは、問い合わせをしてきた人と、受講してみて「申し込む前に迷った」と話す人まで、というのが現実的な範囲です

② 変えること

次の声を集計・分類し、「申し込み前に迷った点・知りたかった点」の上位をまとめた報告書を作ります。

- 問い合わせの内容、無料相談会の質問
- 受講後アンケート（迷った点を聞く設問を、1〜2問足せると理想）

③ 期待できる変化

実際に迷った人の声など、事実に基づいてページを直せます。ほかの改善案を進めるときの優先順位の根拠にもなります。

申し込みの増え方などは、数字ではお約束できません。

④ 私ができること

- 一般行政事務を20年、大量のデータを集計・分析し、表にまとめて資料にしてきました
- 議事録・報告書は、最初に結論がはっきり分かる要約を書き、次に詳細、最後に今後していくことを書く流れで続けてきました。以前の仕事でも、受け入れられてきた書き方です

報告書のイメージ（項目の例です。数字は入っていません）

見出し	入れる内容
1. 結論の要約	最初に、迷った点の上位と、ページで先に直したい点を、結論がはっきり分かるように数行で書く
2. 中身の詳細	声を種類ごとに分け、全体に占める割合を、色で見える表やグラフにする（集計の範囲を注記する）
3. 今後していくこと	直す順番と、運営の方が決めること・私が文章案を作ることを分けて書く

まず試せる小さな一歩：受講生が公開しているnote記事（体験談）から、「申し込む前に迷ったこと」を集計した小さな報告書を、試しにお作りできます。運営の方からデータをいただく前でも始められ、報告書の形を見ていただく見本にもなります（公開されている範囲で、記事の数が少ないときは言い切りません）。

進め方（案）

① 預かるものを決める
使える声・データの範囲と個人情報の扱いを先に決めます

② 集計・分類
迷った点を種類ごとに分け、件数と割合を出します

③ 報告書にする
結論の要約、詳細、今後していくことの順に書きます

④ 確認・修正
運営の方に確認していただき、直します

運営の方にご判断いただくこと（◆）

- 問い合わせ・相談会の質問・アンケートのご提供
- 個人情報の扱い（名前を外す、など）
- アンケートに設問を足せるか

気をつけること

- 申し込まなかった人の声は含まれないことを、報告書に書きます
- 数が少ないときは、言い切りません
- 数字や内容は、全体像をつかんだうえで、適切か・本当かを確かめます

選んだ改善案②（1／2）

効果の大きさの見立て：大
（数字での約束はしません）

案3　講座の強みと「安心して申し込める情報」を、ページの上で結論から説明する

❶ 課題

- 短い期間と手の届く金額で、合うかどうかを判断できる設計が、ページで説明されていません
- 【初級】が誰向けか副題などで示されていません
- 開催の目安・定員・支払い方法が分かりません
- 初めての人でも受注できるよう作っている、という対象と理由の説明が短めです

❷ 変えること

講座ページの内容と、受講生が申し込み前に知りたいことを要点に整理し、ページの上のほうに、要約を先に置きます。
説明する6点は、次のページの表にまとめました。

❸ 期待できる変化

「低価格」「時間とお金が無駄になりにくい設計」が伝わり、不安が和らぎやすくなります。

申し込みの増え方などは、数字ではお約束できません。

❹ 私ができること

- ページの内容と受講生の声を、議事録のように要点で整理し、要約を先に置く文章案にします
- 「相手が求める情報は何か」を考えて、見出しの順番を決めます
- 確認が必要な点は自己判断せず分けて示します

ページに入る文章のイメージ（私が考えた例文です。公式の文面ではありません）

> **初めての方・基礎から学びたい方向け**（副題の例）
>
> この講座は、進めながら合うかどうかを判断できるよう、短い期間と手の届く金額にしています。短期間の講座なので、時間とお金が無駄になりにくい設計です。
>
> 開催は、〇か月ごとを目安にしています。次回は公式LINEでお知らせします。（運営の方がお決めになる内容を入れます）
>
> この講座は、クラウドワークスの仕事のデータをもとに、初めての方でも仕事を受けられるよう作っています。ポートフォリオから受注できた方の例：（運営の方が出せる範囲で）
>
> 定員は〇名程度です。お支払い方法は…（運営の方の確認後に書きます）

【初級】の副題について：「初めての方・基礎から学びたい方向け」のような副題を添えるだけで、誰向けの講座かが伝わると考えます。

選んだ改善案②（2／2）

説明すること	今のページ	書くこと（案）	運営の方に確認 ◆
① 短期間・低価格で、合うかを判断できる設計	記載なし	講座の設定として、進めながら「合う・合わない」を判断できる短さと金額であることを、まず示す。短期間の講座なので、時間とお金が無駄になりにくい、とあわせて伝える	表現のご確認
② 【初級】の意味（副題）	誰向けかの説明なし	「初めての方・基礎から学びたい方向け」のような副題を添える	副題の言葉
③ 募集・開催の目安	受付停止中、受講期間は未定	「何か月ごとに開催」などの目安を、運営の方が決まっている範囲で書く（未定の部分は「未定」と書く）。公式LINEの通知と無料相談会の案内も、ページの上に出す。目安があると、次を待つ不安が減ります	開催の目安の時期
④ 支払い方法	記載なし	支払い方法と、Claude有料プラン代の目安を書く。受講中の私は、支払いの画面でPayPalだけが見えて戸惑いましたが、そのまま進むとクレジットカードで支払えました。こうしたことが事前に分かると安心です	実際の支払い方法、返金などの条件
⑤ 定員	記載なし	「定員は何人程度」と書く。対応できる範囲で、定員を広げることも考えられる。表示は実際の数に合わせる。定員が分かると、申し込むときの見通しが立てやすくなります	定員と、広げられるか
⑥ 対象と、仕事データ	短い説明のみ	仕事データをもとに、初めての人でも受注できるよう講座を作っていることを、対象の人とあわせて書く。ポートフォリオから受注できた人がいれば、運営の方が出せる範囲で例を載せる。講座の目的と対象が分かります。仕事や収入を約束する書き方はしない	受注の例、ページに載せる数字（登録者数など）

進め方（案）

- 運営の方のご希望をうかがい、今のページと突き合わせる
- 6点の見出しと本文案を作る
- 運営の方に確認していただき、直す
- 案7の報告書ができたら、結果をページに反映する

気をつけること

- 運営の方のお考えを文章にするときは、載せてよいか、どう表すかを先に確認する
- 受注の例は、ご本人の許可があるものだけにする
- 支払い・定員は、実際の運用と合わない書き方をしない

案7と案3は続けて進められます。案7で迷った点を声と数字で確かめ、案3でその答えをページの上に出す、という流れです。

選ばなかった改善案の一覧

効果の大きさは見立てです
数字では約束しません

◆は運営の方のご判断が要る案です。ほかにも8つの案を考えました。案1・2・4・9の一部は、案3の中で触れています。まず案7・案3から始め、ご相談しながら進めるのがよいと考えています。

案	題	課題	効果	選ばなかった理由・私の担当
1	受付停止中でも「次の開催の目安」と通知の入口を上に出す ◆	申し込みボタンがなく、入口が公式LINEだけ	大	開催の目安の一文は、案3の③に入れています。時期を決めるのは運営の方です
2	返金・支払い方法・Claude有料プラン代の目安を書く ◆	ページに見当たらない（別ページにある可能性あり）	中	支払い方法は案3の④に入れています。返金などの条件を決めるのは運営の方です
4	「収入につながる」道筋とゴールを書く ◆	仕事や収入につながる道筋が書かれていない	大	受注の例は案3の⑥に入れています。道筋を図で示す部分は、人数・事例のデータが必要で、仕事の獲得を保証する書き方はしません
5	受講生の作品と声を、本文つきで載せる ◆	口コミが外部noteのリンク3本だけ	大	取材や作品の用意、掲載の許可は運営の方。声の整理と見出しづくり、連絡の段取りは一部担当できます
6	この講座単体の受講者数・満足度を、表やグラフで載せる ◆	載っているのはアカデミー全体の数字だけ	中	元データのご提供が前提。集計と、割合が見える表・グラフは担当できます（案7と組み合わせ可）
8	無料個別相談会の記録から、FAQと説明を作り直す ◆	相談会の説明や質問が、ページに反映されているか不明	中	記録のご提供と、答えの内容の確認は運営の方。議事録の形での整理は担当できます（案7の材料にもなります）
9	「仕事データに基づく講座づくり」を、表やグラフで見せる ◆	仕事データの説明が短い	中	使えるデータの範囲は運営の方の判断。表やグラフにまとめる部分は担当できます（案3の⑥とも関係）
10	中身を先に試せるサンプル動画・無料体験を足す ◆	無料の入口が相談会とLINEだけ	中	サンプル動画や無料体験を新しく作らなくても、すでにある無料説明会へ案内することが、その代わりになると考えます。説明会で、講座で何をするのかがイメージできます（受講中の私の感想）。動画の撮影・編集は私の得意分野の外です

私について

この資料は、クラウドワークスアカデミーの公式の資料ではありません。講座の受講者として作った、練習の提案です。

Nolia（ノーリア）。一般行政事務を20年経験し、データの集計・分析と議事録・報告書づくりを続けてきました。看護師と社会福祉士の資格があります。現在は会社員として、副業で資料・文章づくりのお仕事をお受けしています。AIは情報集めから資料づくりまで活用し、数字や内容は、全体像をつかんだうえで確かめています。この提案書も、似たサービス7件を調べ、自分で内容を確かめながら作りました。

連絡先・進め方のご相談

X（DM）：x.com/mag_no11a
対応時間：平日 19:00〜22:00／土日祝 10:00〜18:00
初回相談：30分
実際のお仕事では、案7と案3について、「ここは運営の方が決める」「ここは私がたたき台を作る」の分け方からご相談する想定です。